

●インタビュー●

セキュリティカンパニーとして、 ERM ビジネスの展開は社会的使命

ICTソリューションパートナーとして、安心・安全なICT環境の提供に注力するNTTコミュニケーションズ。セキュリティに強い信頼できるパートナーとしての強みを活かした新たな取組みとして、企業の内部統制、事業継続管理からICT環境の整備まで、経営上のリスクマネジメントを支援するERM（エンタープライズリスクマネジメント）ビジネスを開始した。ERMのワンストップサービスを推進する専門組織を新設するなど、網羅的なセキュリティサービスの展開に注力する金融イノベーションシステム部の事業戦略について、村上満雄取締役にかがった。

事業部の柱となるフラグシップ ビジネスの強化に向け組織を改編

—はじめに、マーケット環境を含めビジネスの状況からお聞かせください。

村上 私ども金融イノベーションシステム部（金融IS部）は、これまで金融機関のチャネル系システムやICキャッシュカード、社員証・公務員証・学生証・住基カードなどのICカードソリューション、認証／決済のプラットフォームなど、金融ないしはセキュリティに関するビジネスを広範囲に手がけてきました。なかでも、ICカードソリューションは既に200数十社に提供するなど多くの実績を有しております。また、ICカードソリューション等の市場が成熟してきている一方で、世の中の流れとして、金融商品取引法（日本版SOX法）への対応をトリガーに内部統制、IT統制の必要性が高まっています。このような状況を踏まえ、私どもは法人向けに特化したビジネスを展開したいということから、既存事業の選択と集中を進めているところです。

—事業の方向性として、どのような点に注力されるお考えですか。

村上 企業のコンプライアンスやセキュリティに対する社会的要請、さらには日本版SOX法への対応など、安心・安全なICT環境の整備が求められています。ビジネスにおけるICTの重要性が増すなかで、ICT環境の不備は、即経営を揺るがすリスクにつながりかねません。私どもは、日本版SOX法などのコンプライアンス対応、事業継続計画（BCP）の策定支援コンサルティングを始めとするトータルセキュリティコンサルティングで、お客さまのビジネスに合わせてワンストップでご支援することを目指しています。このため、セキュリティを軸に、コンサルティングから物理的レイヤまで、上流から下流に水が流れるような対応が可能となるよう、体制を整備しているところです。

私は、NTTコミュニケーションズはセキュリティカンパニーであり、セキュリティビジネスの推進は社会的使命だと思っています。前述したように企業のリスクマネジメントをご支援す



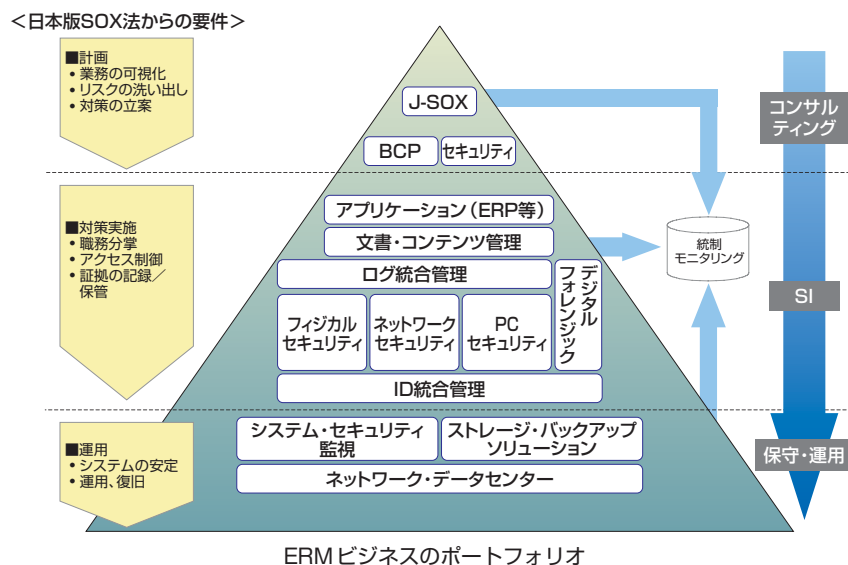
NTTコミュニケーションズ(株) 取締役
金融イノベーションシステム部長
村上 満雄氏

るレイヤスルーのビジネスを展開していきたいと考えております。

顧客企業の経営リスクのマネジメントに向け、ERM部門を設置

—事業部の新たな柱となるビジネスをドライブする新組織を設置されましたね…。

村上 企業経営におけるリスクのマネジメントにおいて重要となるのは、上流のコンサルティングであると考えています。そこで、ERMビジネスの上流工程を担う組織として、新たに約20名からなる「エンタープライズリスクマネジメント担



当」を設置しました。ここでは、日本版SOX法対応に向けた内部統制対応支援コンサルティングやBCPの策定支援コンサルティングなどを行います。特に注目したいのは、日本版SOX法への対応過程において、社内プロセスの文書化が求められていることです。いわゆる「見える化」の実施により、業務プロセスの改善、効率化をすることができます。つまり、同法への対応はコンプライアンスにとどまらず、また、外部からの圧力で仕方なくやる事ではなく、自社を一層強い会社とするために、企業は自ら積極的に取り組んでいくべきことだと思います。

たとえば企業のセキュリティ対策についてみると、これまでは様々なセキュリティインシデントに対して場当たりの対策を行うケースも多かったのですが、コンサルティングを行うことによって、社内プロセスやITの見直しを伴ったシステムティックで体系的なセキュリティ対策が

可能になります。私どもがERMビジネスを進めていくにあたっては、コンサルティングを踏まえた、体系的な対策を上流から下流までシームレスに実施することにより、一つひとつのソリューションが、一本の糸としてつながっていくビジネスを手がけていきたいと考えております。

グローバルな対応を含め、リスクマネジメントをワンストップで支援

——ERMビジネスの展開にあたっての貴社の強みは…。

村上 コンサルティングからアプリケーションセキュリティ、ネットワークセキュリティ、物理的セキュリティまで、レイヤスルーのリスクマネジメントサービスをワンストップで提供できるという点が最大の強みだと思います。ネットワーク事業者でありながら、これだけソリューションに力を入れている会社というのは、世界的にみても稀です。また、NTTグループでは、

アクセスネットワークはもちろんのこと、アプリケーションといった領域においても、豊富な人材を擁しています。NTTグループの力を活用することで、お客さまのICTの領域に関するご相談に、カバーできないところはありません。お客さまの悩みをうかがい、必要な答えをどこからでも引き出してこれられるという非常に恵まれたポジションにいます。大きな強みだと思っています。

ERMをトリガーに、NTTデータ、NTT東日本・西日本との連携を積極的に行っていきたいと考えております。

——最後に今後の取組みも含め、抱負をお聞かせください。

村上 NTTコミュニケーションズのもう一つの大きな強みである「グローバル」での対応が今後の大きな課題です。日本で提供しているサービスを、世界中で実現することが重要だと考えています。これは、言うのは簡単で、実現するのはなかなか難しいことなのですが、お客さまはむしろ、「国内は目が届くけど、海外をしっかりとやりたい」というご要望が多いのです。そういうご要望にお応えできるような、面的にもワンストップでお客さまからご相談いただける会社に一日でも早くなりたいと思っています。

——本日は有難うございました。

(聞き手・構成：編集長 河西義人)